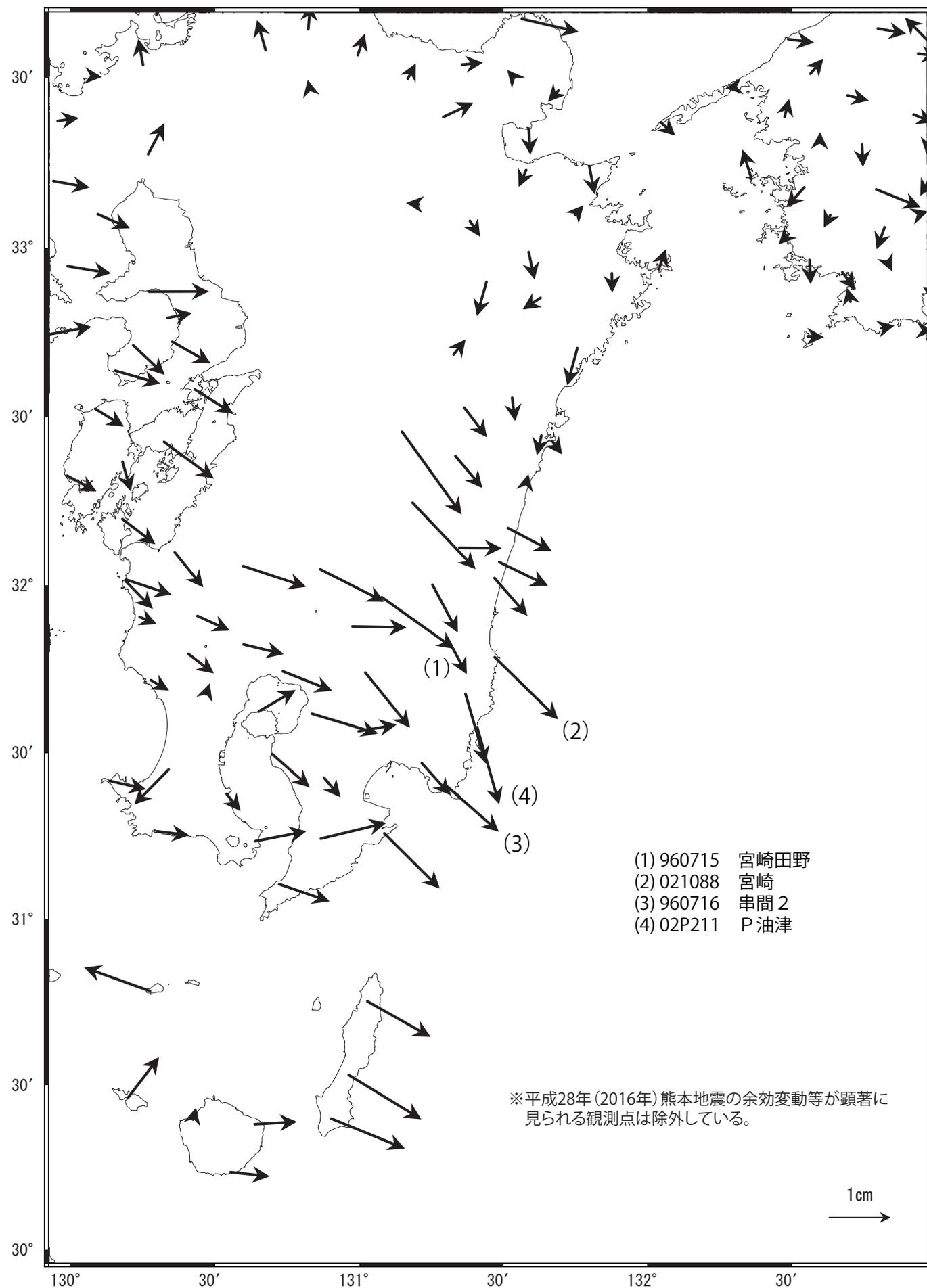


九州地域の非定常水平地殻変動(1次トレンド除去後)

基準期間: 2020/01/01~2020/01/07 [F5: 最終解]

比較期間: 2022/01/12~2022/01/18 [R5: 速報解]

計算期間: 2012/01/01~2013/03/01

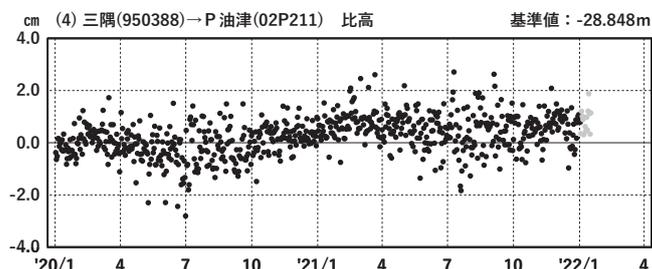
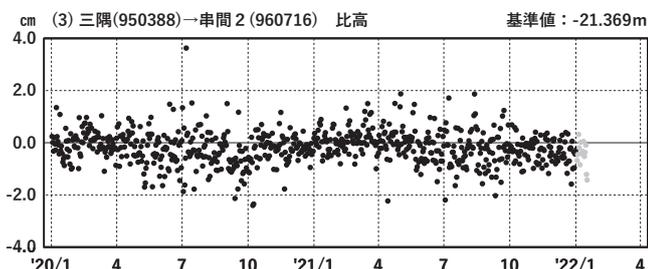
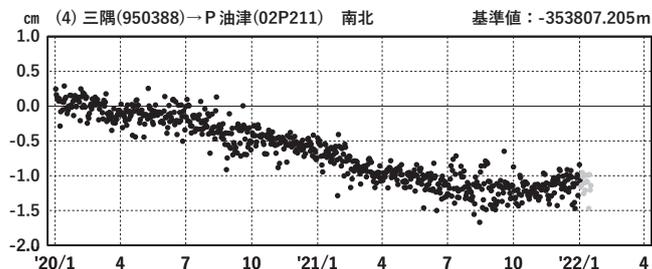
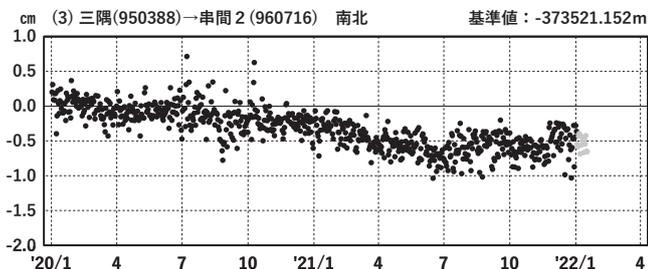
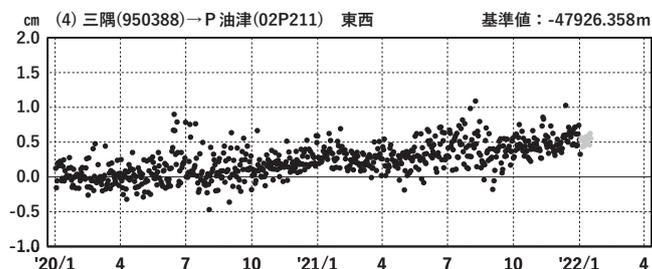
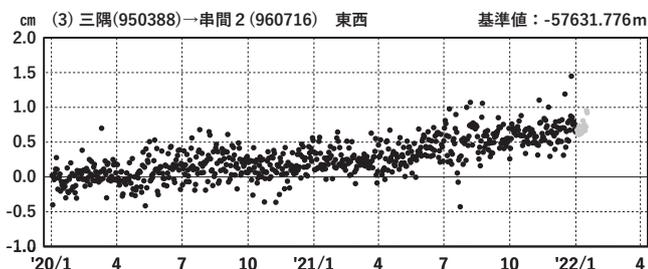
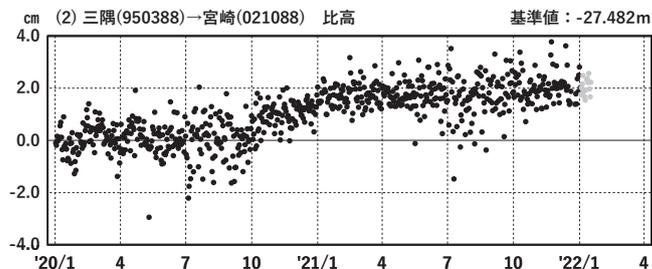
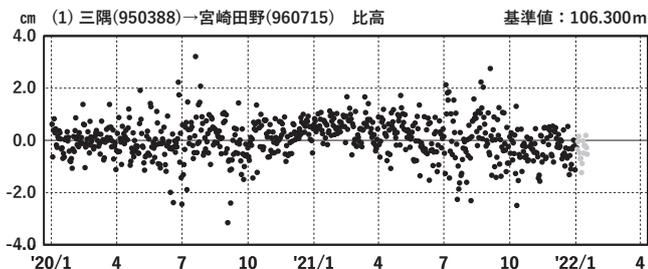
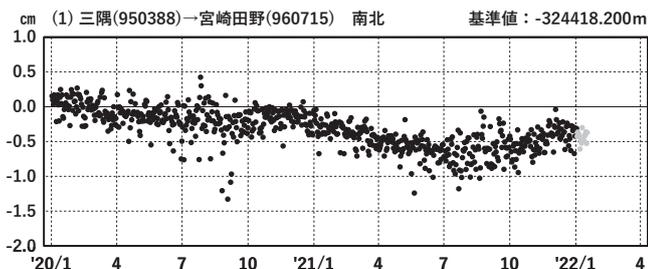
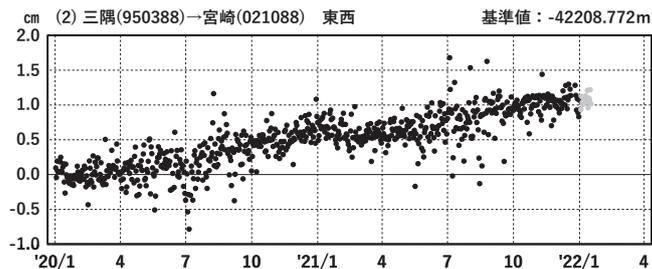
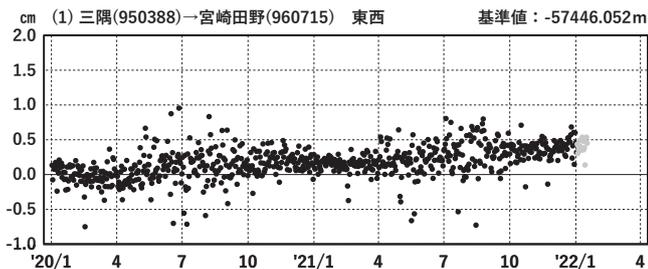


九州地域 G N S S 連続観測時系列

1次トレンド除去後グラフ

期間: 2020/01/01~2022/01/16 JST

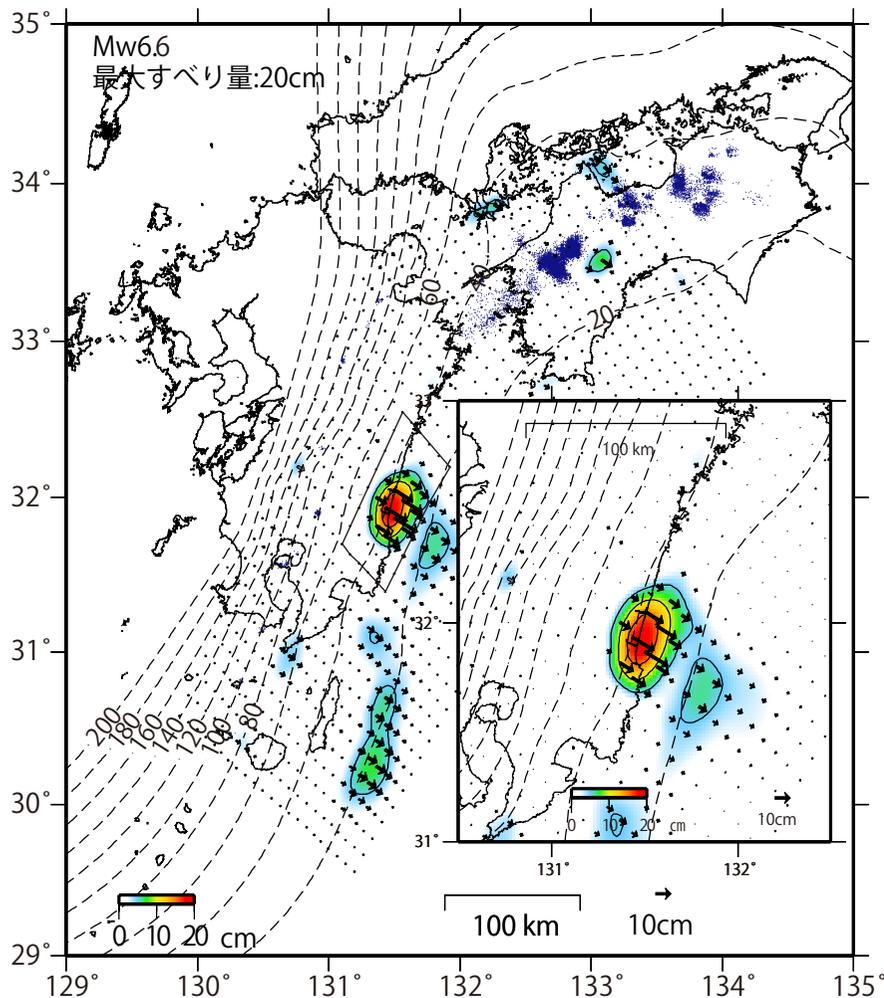
計算期間: 2012/01/01~2013/03/01



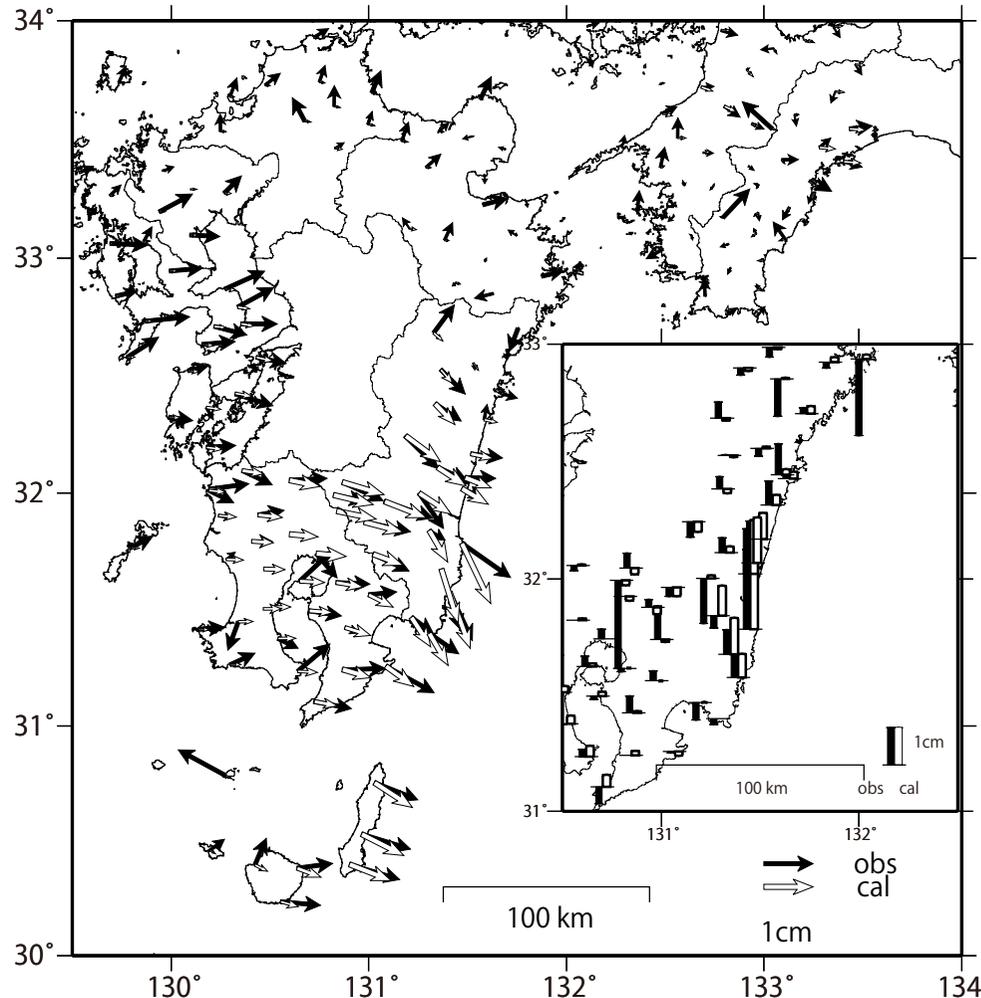
●---[F5:最終解] ●---[R5:速報解]

GNSSデータから推定された日向灘南部の長期的ゆっくりすべり (暫定)

推定すべり分布
(2020/6/1-2022/1/5)



観測値 (黒) と計算値 (白) の比較
(2020/6/1-2022/1/5)



Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量 (カラー) 及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差 (σ) の3倍以上のグリッドを黒色表示している。

使用データ: GEONETによる日々の座標値 (F5解、R5解)

F5解(2020/1/1-2021/12/25)+R5解(2021/12/26-2022/1/5)※電子基準点の保守等による変動は補正済み

トレンド期間: 2012/1/1-2013/3/1 (年周・半年周成分は補正なし) ※平成28年 (2016年) 熊本地震の余効変動等が顕著に見られる観測点は除外している。

モーメント計算範囲: 左図の黒枠内側

観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線 (Hirose et al., 2008)

すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束

青丸: 低周波地震 (気象庁一元化震源) (期間: 2020/6/1-2022/1/5)

固定局: 三隅